

Akatake Times



『今はもう冷静です』

出張でアメリカに来ています。
アメリカまで来て、仕事しかないのもなんだかもったいない気がしたので、MLB観戦に行くことに。
滞在先から車(Uber)でおよそ20分のところにロイヤルズのホーム、カウフマン・スタジアムがあります。
現地時間6/27~29に日本人選手を多く抱えるドジャースが来る！ということで、5月にチケット確保。
試合の10日くらい前に大谷選手が投手として今期初登板して、もしかしたら……と内心ざわざわしていました。
いざ当日、大谷選手が登板！ミラクル！2回までと短い時間でしたが、投手として帰ってきた姿をこの目で見る事ができて、感激でした。豪運すぎてこの先が心配です。
NPBには無いインニング間の演出、本場のブーイング、ファンの熱気を感じた時、「ああ、俺このためにアメリカまで来たんだ」と悟りを開きました。

撮影日2025年6月28日(現地時間)

技術部 設計1課 高橋 利和

◆お客様との交流から

先日、お客様と終日時間を共にする機会に恵まれました。常々、そのお客様からは、タッチレスバルブフィーダについて、絶賛を頂いています。洗浄が大変容易になったため洗浄時間が大幅に短縮されたこと(数日が半日に!)、計量精度も申し分なし。また、当社の技術対応についても(様々な要望に、親身に対応してくれること、またその質)。担当の皆さんが素晴らしい仕事をされたようです。皆さん認識の通り、わが社は顧客対応(特に技術面)を評価頂くことが多いです。この姿勢は先達より脈々と継がれている、当社の武器です。今回、以下を再確認した次第です。

- ①皆さんが十分にお客様の要望に技術で応えられるような環境を整えて行く重要性、必要性
- ②そのタッチレスバルブフィーダの販売実績が伸び悩んでいる?のは、販売戦略の不足ではそしていずれも、リソース、心身の余力の創出が肝だと感じます。①については実粉テスト、各種測定機器、技術的根拠を支えるツール等の増強が必要でしょう。引き続き、協議と試行錯誤を重ねていきましょう。

続いて、日本粉体工業技術協会様の「若手のつどい」の皆様に来社頂き、会長と沼津高専鄭先生による2つの講話と会社見学でお迎えしました。アンケートによると、全体的に好評でしたが、なかでも5Sについてお褒めの言葉を多く頂きました。同業の皆様に見て頂くのは大変刺激になります。交流会もあるし、皆さんも時間が許せば参加することをお勧めします。



若手のつどいの様子
(協会ホームページより)



クロステックミュージアム
(ミネベアミツミ様ホームページより)

5月には、ミネベアミツミ様のクロステックミュージアムを訪問しました。夕留の本社に開設された自社の技術を、子供でも楽しみながら理解してもらうための施設で、大変素晴らしいものでした。自社の技術を普遍化して、楽しめるように展示する手法は、大変参考になります。皆さんも行かれてみてはいかがでしょうか?

◆次なる「売れ筋」は?

最近購入した市場調査(関係者で共有済み)によると、リチウムイオン二次電池の国内生産はこれまでより急激に伸びるようです。

諸先輩の話を統合すると、わが社にはこれまで定期的に、事業を支える売れ筋商品(複数の顧客へ長期継続的に台数が出る)が現れ、事業を支えてきました。

私なりに想像すると、以下などが挙げられます(商品以外もありますが)。

イートップ・サンフロー、高圧吹込み装置、ダイオキシン対策用吹込み装置、F社様、電池関連、DDU...

次は何か?

引き続き電池業界は活況ですが、市場拡大による新規競合参入や自社設備化、技術の成熟による状況変化もあり得ます。

バルブフィーダシリーズにはそのポテンシャルがあると思いますが、どうでしょうか?

他にも可能性は豊富です。大変ですが、楽しみでもあります。

代表取締役社長 赤堀 芳太郎